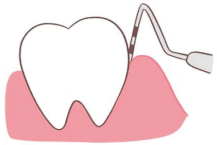
歯ぐきの検査なぜ必要？？？



歯ぐきの検査、痛いし顎も疲れるし、苦手な方も多いと思います。
歯ぐきの検査は何がわかるのか、なぜ必要なのか、今回説明したいと思います。

①現在の歯ぐきと骨の健康状態を把握するため

歯周ポケットの深さや出血の有無、歯の動き具合などを測定して、歯周病の進行度を評価します。
→どの歯が危ないか、どの範囲で治療が必要かを見極める基礎データになります。

②治療方針を立てるため

例えばポケットが４㎜以上ならクリーニングと歯ぐきの中のお掃除、
軽度なら定期的なクリーニングとブラッシング指導で対応するなど、治療内容を決める指標になります。

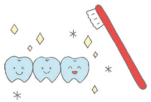
③経過を追跡するため

初回の検査や前回の検査と比較して、改善した・悪化したなど数値で確認できます。

④保険診療上の必要条件

歯石取りなどのクリーニングを
歯周病治療として保険を使って行うためには
必ずこの検査が必要です。

以上のことから
歯ぐきの検査はとても重要なものです。
苦手な方も多いかと思いますが、
検査時、歯科衛生士に
「ゆっくりしてほしい」「優しくしてほしい」など
お伝えいただければできるだけお力になります。



●箕輪●

○スタッフ紹介○

初めまして！
歯科助手の **鈴木 美穂** です。

趣味はスポーツ観戦で、
楽天イーグルスとベガルタ仙台を応援しています！！
道の駅巡りも好きで、
休日は道の駅スタンプラリーをしながら
お出かけすることが多いです。
その地域のおいしいものを食べるのが毎回楽しみです♪

みなさまに安心して通っていただけるよう
歯科助手としてこれから頑張っていきたいと思います！！
よろしくお願いします！

◆発行元

泉MK歯科クリニック
TEL　022-373-0020
FAX　022-373-0040

◆診療時間
月・水・木・金・土曜日
９：００～１８：３０
（昼休み１３：００～１４：３０）
日曜日
９：００～１３：００
◆休診日
火・祝祭日

青葉MK歯科
TEL/FAX
022-261-9047

◆診療時間
月・水・木・金曜日
９：００～１８：３０
（昼休み１３：００～１４：３０）
土曜日
９：００～１３：００
◆休診日
火・日・祝祭日

MK歯科新聞
２０２６
冬号
VOL．５７

お口の健康が感染予防のカギ！？

歯科とインフルエンザの意外な関係

寒い季節になるとインフルエンザが流行しやすくなります。
実は「お口の中の健康状態」が
インフルエンザの感染リスクや重症化に関係していることをご存じですか？

●お口の中の細菌が感染を助けてしまう！？

お口の中には数百種類もの細菌が住んでいます。
歯磨きを怠ると、歯周病が進行しやすくなり、
細菌が増えて歯垢や歯石が溜まりやすくなります。
これらの細菌は口やのどの粘膜を傷つける「酵素」を出すことがあり、
その傷口からインフルエンザウイルスが侵入しやすくなってしまうのです。

●口腔ケアで感染予防効果アップ！！！

研究では定期的に歯科でプロフェッショナルケア(歯垢除去・口腔清掃指導)を
受けている方は、インフルエンザの発症率がおよそ１／１０に減少したという報告もあります。
つまり、「お口の中を清潔に保つこと」が免疫力を高める第一歩なのです。

●ご家庭でできる対策

１，丁寧な歯磨き(１日２～３回、特に就寝前)
２，うがいの習慣化(食後・外出後・就寝前)
３，舌の清掃(舌ブラシでやさしく)
４，定期的な歯科検診・クリーニング

お口の健康は全身の健康に繋がります。
この冬は「手洗い・うがい・歯磨き」でインフルエンザを寄せつけない体づくりをしましょう！

●小山●

歯磨き後のうがいは何回？

突然ですが皆様、歯磨き後のうがいは何回されてますか？
歯磨き粉の味や汚れが気になって何回もうがいをされてる方も多いのではないでしょうか。
結論、歯磨き後のうがいは１回が理想です。
なぜかというと、歯磨き粉には
虫歯予防に効果的なフッ素や歯周病に効果的な抗菌薬や抗炎薬が含まれています。
その成分をよく侵透させるには、できるだけ口腔内に歯磨き粉を留めておく必要があるのです。
何度もうがいをしてしまうと、成分が流れおち効果が薄れてしまうのでゆすぐのは１～２回にしましょう。
１回じゃ流したりない！！と思う方は低発泡の歯磨き粉やジェルタイプの歯磨き粉がおすすめです。

●五十嵐●